

新規採用診療放射線技師教育プログラム(新人教育プログラム)

主 旨

『医療における患者の安全と医療の質の向上』を目標に、診療放射線技師としての自覚と責任ある行動並びに専門技術の向上を図る。

目 的

新規採用した診療放射線技師(以下新人技師)の効率的且つ均一的な業務習得を目的に、新人教育プログラム(以下教育プログラム)を利用して、一定期間内に指導者と新人技師が到達状況を確認しながら、ステップアップする。

対 象

国立研究開発法人 国立循環器病研究センターに新規採用された診療放射線技師とする。

習得項目

1、一般項目

役割と責任

- ・病院職員としてのモラル
- ・専門職業人(診療放射線技師)としてのモラル

2、専門項目(共通、技術)

- 1) 一般撮影(一般、ポータブル)
- 2) CT検査
- 3) MR検査
- 4) 血管造影
- 5) RI検査
- 6) ガンマナイフ

※専門項目の中で、頻度の少ない特殊な撮影及び検査は教育プログラムから除外した。

習得期間

新人教育期間は、業務に就いてから3年間(36ヶ月)を基本とし、設定期間内の習得が難しい場合は期間の延長も可能とする。尚、中途採用者や早期習得者に対しては、習得度により期間を短縮で
※検査頻度の高低及び難易度を考慮して習得期間を決定した。

指導者の選任

新人技師に対する指導は技師長が選任する各専門項目に精通した技師複数名とする。

運用方法

目標達成に向けて、習得状況が把握できるように本人と指導者によりチェックシートで確認する。指導者同士は連携を密にして指導内容の均一化と習得状況を把握する。

- (1) 教育プログラムをスタートさせる前に技師長及び指導者は新人技師と面談を行い、教育プログラムの目的と方法並びに内容を把握させる。
- (2) 各習得期間終了後、新人技師と指導者との話し合いにより習得状況の確認を行い、次の習得目標を決める。
- (3) チェックシート毎の共通項目の確認は随時行い、技術項目終了時に再度確認を行う。
- (4) 達成状況並びに達成度については、技師長へ報告を行うとともに、スタッフヘフィードバックを行う。

各部門における業務習得目標

部門配属から	～3ヶ月	～6ヶ月	～9ヶ月	～12ヶ月
一般撮影	- 各装置の安全な操作の習得 - 安全で正確な検査方法の習得 - 検査室の環境整備 - 装置の始業点検、終業点検 - ポータブル撮影の習得 - 胸腹部、上肢下肢などの基本撮影の習得	- 撮影目的の理解と患者への説明 - 適切な画像処理の習得 - 感染症に対する知識と対策 肩、肘、膝などの関節撮影の習得	- 装置のトラブル回避、対処 - 撮影条件の最適な設定 - 散乱線除去の理解 - 被ばく線量の理解 - 胸郭、股関節撮影などの習得	- 正常解剖の知識と異常所見の読影 - 患者急変時の対応 - 緊急時(地震、災害時)の対応 - その他、頸椎開口位撮影等の習得
CT	- 各装置の安全な操作の習得 - 安全で正確な検査方法の習得 - 検査室の環境整備 - 装置の始業点検、終業点検 - 基本部位のルーチン検査の習得	- 検査内容に応じた適切な機器操作 - 検査法の概略と手順の理解 - 感染症に対する知識と対策 - 基本部位の正常像と異常像の理解	- 装置のトラブル回避、対処 - 造影剤副作用の知識と対処 - 緊急時(地震、災害時等)の対応 - 各部位のルーチン検査、画像処理の習得	- 撮影条件の最適な設定 - 装置の特徴及び撮影原理の理解 - 各組織のCTA撮影及び画像処理 - 目的部位の正常像と異常像の理解
MRI	- 日常点検 - 患者接遇(更衣指示、患者確認等) - MRI検査タイムアウト正確な実行 - 緊急検査時のCOVID対応 - MRI1室での緊急頭部MRI検査習得	- 感染症に対する知識と対策 - MRI1室での各種頭部MRI検査習得 - 造影MRI検査の準備と習得	- MRI非対応金属患者の対処 - 各装置における頭頸部MRI検査習得 - 頭部MRI検査の3D画像処理習得	日勤、夜勤に向けた画像処理及び検像習得
血管造影	- 血管撮影の基本システムの習得 - 虚血性心疾患や脳卒中にかかわる血管撮影装置の安全な操作方法の習得 - 上記装置の日常点検の方法 - 急変時対応の習得 - 正確なタイムアウトの実行 - 確実な終業点検(画像転送含む)	- 感染症に対する知識と対策 - 虚血性心疾患や脳卒中に対する知識の習得 - 虚血性心疾患に対する撮影方法の習得 - 検査や治療法の概略と手順の理解	- 肺循環器に関する知識と撮影法の習得 - 不整脈疾患に関する知識と撮影法の習得(Hybrid OR4) - Hybrid OR4における緊急時対応の習得	- 小児循環器疾患に関する知識と撮影法の習得 - 心不全疾患に関する知識と撮影法の習得 - 大動脈疾患に関する知識と撮影法の習得 - ステントグラフトの知識と撮影法の習得 - Hybrid OR5における緊急時対応の習得
RI	- 装置の始業点検、終業点検 - 装置の特性を理解した安全な操作 - 放射線医薬品の安全な取り扱い - 患者誘導及び寝台移動時の安全確認 - 管理区域の理解 - 放射性医薬品の入庫・使用・廃棄の手順	- 患者確認と正確な患者情報の入力 - 各撮像プロトコルの理解 - 検査法の概略と手順の理解 - 適切な患者ポジショニングと固定 - 画像及び検査データの解析処理 - 検査目的、内容の把握と患者への説明	- 検査内容に応じた適切な画像出力及び画像転送の正確な操作 - 装置のトラブル回避と対処法 - 最適なプロトコル及び放射性医薬品の選択 - アーチファクト発生の原因と対処法	- 放射性医薬品の種類、特徴及び副作用の理解 - 負荷薬剤の種類、特徴及び副作用の理解 - 放射性廃棄物の処理方法の理解 - 緊急時(地震、災害時等)の対応
ガンマナイフ	- 装置の始業点検、終業点検 - 装置構造の理解 - 構成装置の把握 - 日常点検(QA) - 感染症に対する知識と対策	- 装置のトラブル回避、対処 - 緊急時(地震、災害時等)対応の習得 - 治療内容の把握と手順の理解		